

12/3

共通の文化「食」を通して考える

あぶくま地域シンポジウム



みんなのひろば

ここはみなさんが主役のひろばです。
身近な話題をどんどんお寄せください。

■役場企画室 TEL42-1613



▲シンポジウムのようす

「あぶくま地域シンポジウム」が、宿泊体験館きこりで開かれ、参加者らがあぶくまの地域づくりについて意見を交わしました。このシンポジウムは、あぶくま地域5市町村（飯館村、浪江町、葛尾村、川内村、田村市都路町）で構成する「あぶくまロマンチック街道構想推進協議会」（吉田敏八会長・都路町）が、昨年に続き主催したものです。各市町村から合わせて約80人が出席したシンポジウムでは、

じめに基調講演が行われ、同協議会の宮口勝美事務局長が、今年度の協議会の取り組み経緯などを発表しました。

その後の実践事例紹介では、各市町村の直売所や団体の代表が、それぞれの取り組みを紹介。本村からは、「いいたてベイクじやがいも研究会」の渡辺とみ子会長が、村独自の品種として現在取り組んでいる、じゃがいもとかぼちゃの特徴や調理例、今後の活動予定などを発表しました。

また、シンポジウムでは意見交換も行われ、参加者らは、村産の食材などを楽しみながら互いに交流を深めました。

県では、重点事業に過疎中山間地域の振興を掲げており、今後とも協議会の取り組みを支援していく考えです。



▲事例発表する渡辺会長

巨大ツリーが輝く夜に

12/3

商工会青年部クリスマス会



▲クリスマスケーキを作る親子ら

商工会青年部主催の「クリスマス会」が、いちばん館で行われ、13組の親子が参加しました。

クリスマス会では、親子でのケーキ作りをはじめ、クリスマスにちなんだ催しが多数行われました。

このうち、リサイクルキャンドル作りでは、村給食センターからいただいた廃油を凝固剤で固め、参加者らが好みの色を染めて、思い思いのキャンドルを作り上げました。

また、会場入口には、部員らが用意した高さ3メートル以上の大きなクリスマスツリーも飾られ、参加した親子らは一足早いクリスマスを楽しんでいました。

もしも税金がなかったら…

12/3

草野小で税金教室

草野小学校で、6年生を対象に税金教室が行われ、児童たちが税金の大切さなどについて学びました。

この教室は、児童たちに税金について理解を深めてもらうべく、各学校からの要望に応じ、税務署と市町村が協力して行っているもので、同校では毎年実施しています。



▲教室のようす

教室の最後には、1億円の重さ体験も行われ、職員が用意した1億円と同じ重さの紙束を児童一人ひとり持ち上げ、その重さを実感していました。



▲1億円は重い～

この日は、村の税務係職員2人が講師を務め、税金の種類を紹介したり、税金がなくなってしまうと世界のアニメビデオを上映しました。

また、村の小学生一人当たり年70万円以上の税金が使われていることなどを説明すると、児童たちは驚いた様子で、改めて税金の必要性を認識していたようでした。



「協働とは」

役場は字のごとく、村民にとって「役に立つ場所」でなければなりませんので、職員は一生懸命村民のため仕事を広げてきました。

ですから、以前より役場の仕事量は何倍にも増えました。

一方で、村民は役場に対して「参加」から「参画」になり、今は「協働」に変わってきました。

参加とはただ単に加わるのみです。参画は一歩踏み込んだ協力です。しかし「協働」は「共に働く」ですから、受身ではなく、主人公ということになります。

これからは飯館村単独でいくという「新たな出発プラン」の柱は「村民と行政の協働」です。

しかし、「協働」とはどうも良く分からないという声が聞かれます。

飯館村の皆さんには「地区別計画」「道普請事業」「ボランティア」「リサイ

クルから「ミミ分別」など、他の町村よりも何倍もの「協働」をやってもらっています。

先日「思いやり・まじりあい」ピンポン大会」の審判を、飯館中の卓球部が中心になってもらいました。今月号から小中学生に村の広報誌づくりを受け持ってもらっています。

これ全て「協働」です。そう考えると「協働」は色々な事が出来そうです。また、少し考え方を変えてみるというのも「協働」かもしれません。

アメリカのケネディという偉大な大統領が、就任式に国民に向かって言った有名な言葉を、村に置き換えて言ってみます。

「村は私たち村民に何をしてくれるか」と問う前に、「自分は村のために何が出来るのか」を考えて欲しい。

という言葉になります。

頭の片すみに、このような考え方をちよつと置いてもらっただけでも、素晴らしい「協働」になるのではないのでしょうか。

今年は、飯館村立村50年の年、さらなる飯館村の50年の基礎づくりに、一人ひとりが出来る範囲で「協働」「共に汗をかく」「ことこの「よろこび」や「達成感」を、味わってみたいだけには幸いです。

平成17年12月19日

飯館村長 菅野 典雄



誕生おめでとう

赤ちゃんの名え	親の氏名	行政区
金澤 爽愛ちゃん	章 博・由美子	飯 樋 町
高橋 隆聖くん	敦 佳 子	草 野
圓谷 拓哉くん	弘 一・美和子	蕨 平
鈴木 李奈ちゃん	仁 美由紀	臼 石
本多悠希也くん	敏 活・満智子	二枚橋・須萱
山田 理輝くん	大 輔・望 美	比 曾
竹中 連くん	勝 広 美	佐 須
佐藤 大斗くん	勇 みゆき	臼 石

すくすくと元気に育ってね

結婚おめでとう

届出はありませんでした

お く や み

氏 名	年 齢	行政区
赤石澤 國 夫	74	前田・八和木
長谷川 義 正	80	伊 丹 沢
高 橋 源二郎	82	長 泥
高 野 國 夫	85	大久保・外内
花 井 リ ツ	86	伊 丹 沢
長 正 榮	89	大久保・外内
嶋 原 定 清	94	長 泥
佐 藤 ミ 工	91	伊 丹 沢

ご冥福をお祈り申し上げます

(平成17年11月21日から12月20日までに届け出のあったものを掲載)
※この欄に掲載を希望しない方は、届け出のときに住民係へ申し出て下さい。

ひとのうごき

(平成17年10月1日現在)

人 口	今 月	昨年 同期
男	3349 人	3389 人
女	3372 人	3442 人
計	6721 人	6831 人
世帯数	1740 戸	1868 戸

(平成17年国勢調査結果)
昨年同期は、平成12年国勢調査に基づく現住人口

9団体が華やかに27演目を披露

村文化協会(長谷川利治会長)が主催する「第21回芸能発表会」が公民館にて開催され、村内の芸能団体が唄や踊りなど日頃の練習の成果を披露しました。

今回の発表会には、民謡会や琴の会、お母さんコーラス、太鼓など9団体が出演。3時間以上にわたり27演目が発表され、会場に訪れた約200人の観客らは、ステージ上で繰り広げられる華やかな踊りや演奏に大きな拍手を送っていました。



▲発表会のもよう

11/27

第21回芸能発表会

経営安定に向けた取り組みを



▲菅野村長へ建議書を手渡す北原会長と菅野会長職務代理者

12/5

農業委員会から村へ建議

村の平成18年度の予算編成を控え、農業委員会の北原経会長と菅野宗夫会長職務代理者が役場を訪れ、菅野村長へ平成18年度の農林業施策に関する建議書を手渡ししました。

建議の中では、主に経営安定対策に向けた集落営農組織の立ち上げおよび育成支援をはじめ、地産地消運動の一層の推進、いいたてブランドの確立、緑豊かな里山景観の保全、有害鳥獣駆除対策などが出されています。



▲英語指導助手のベッキーさんは初めての餅つき



▲有志の方たちと餅つきをする園児ら

草野・飯樋両幼稚園で「もちつき会」が行われ、園児たちが父兄や有志の方たちと一緒に餅をつきました。

このうち草野幼稚園では、今年も深谷行政区の有志の会8人がお手伝い。同会の手伝いは、今回で30年目となりました。園児らは、太鼓の音や「よいしょ」の掛け声に合わせて、有志の方たちと一緒に千本杵で餅をつきました。

つきあがった餅は、きな粉餅と汁餅としてふるまわれ、園児たちはつきたての餅をおいしそうに食べていました。

12/1・12/2

幼稚園もちつき会

おいしいお餅上手につけたよ

安全・安心で登下校を

草野小学校の児童たちが地域安全マップ作り



▲マップ作りのようす

草野小学校では、全校児童が参加し、方部ごとに地域安全マップ作りを行いました。

これは、広島県などで下校中の小学生が襲われる事件が発生したことを受けて、同校が校外児童会の時間を利用して取り組んだものです。

マップ作りでは、児童が一人ひとり自分の家を確認した後、保護者に協力していただいた危険箇所調査結果をもとに、登下校時に一人きりになる経路などをそれぞれ地図上に示していきました。

同校では、今後このマップをPTA教養育成・方部委員などへ配布し、児童の安全確保の推進にいかしていきたいと考えています。

12/16

イギリス人のサンタさん登場

飯樋幼稚園お楽しみ会

飯樋幼稚園でお楽しみ会が行われ、園児たちが幼稚園のクリスマスを楽しみました。

お楽しみ会では、はじめにクリスマスにちなんだお話が上映された後、園児たちが曲に合わせてダンスを踊ったり、歌を歌ったりしました。



▲ダンスを踊る園児ら



▲園児にプレゼントを渡すサンタさん